

令和6年度 各産地の情勢（県内）

株式会社静岡茶市場
令和6年4月3日時点

農協・地区	情 勢
J Aふじ伊豆 (南駿地区)	3月中旬が寒く生育が抑えられました。それまで順調に感じていたが4月後半からの摘採になりそうです。4月近くになり温度が高い日が続き少しだけはやまるかもしれません。雨が多いがダニを心配する生産者も増えています。
J Aふじ伊豆 (富士地区)	生育は昨年に比べて平年並みから5日程度遅れる見込みです。 早生品種は4月20日頃からの摘採予定です。4月末から盛期を迎える見込みです。
J Aふじ伊豆 (富士宮地区)	3月初旬頃までは高い気温で推移していて生育が昨年よりも一週間ほど早まる見込みでしたが、中旬頃より低気温で推移しており3月末頃から一気に気温が高まる予報を含めて昨年より5日ほど早い見込みです。 早場所：5日程早い 中場所：2～3日程度早い 遅場所：平年並み
J Aしみず	芽伸びが平年より3日遅く、昨年より5日遅い状況です。 早場所（有度・清水）で4月20日すぎから、中場所・山間地は5月ゴールデンウィーク頃から一気にスタートする予定です。
J A静岡市	3月下旬の冷え込みで生育が抑えられ、昨年より5日～7日遅く平年並みの摘採日になる予想です。J A静岡市管内で1番早い丸子地区の近藤早生で4月10日摘採予定です。早生品種で4月中下旬、ヤブキタが25日頃の摘採開始予定です。 今後の気温に左右される可能性があります。
J A大井川	本年の1月から2月の気温は高く推移したため、当初の1番茶の萌芽は早まると予想されましたが、3月に入ってから低温による影響で生育はやや抑えられました。管内の早場所の初倉地区は、前年より3日から6日遅く、金谷地区では、ヤブキタで前年より6日遅れの状況です。 また、3月に降水量が多く土壌は潤っていますので、今後の気温次第では生育が早まることも考えられます。
J Aハイナン	3月中下旬の冷え込みにより昨年に対し5日～6日遅い状況です。 昨年は早場所で4月13日頃から早生品種の摘採が始まったので、今年は4月20日前後となる予想です。
J A遠州夢咲	令和6年、1番茶の生育状況は順調ですが昨年より1週間ほど遅い状況です。1番茶の開始が4月20日～25日頃になる予想です。 生産者も1番茶に向けて良質茶生産に取り組んでいますので今後ともよろしく願いいたします。
J A遠州中央	早場所では4月15日前後の製造開始を予定しています。 本年は品種による生育差があり、ヤブキタは20日～25日からを予定しています。遠州中央管内としては全体的に昨年より7日前後遅い茶期となる予定です。

令和6年度 各産地の情勢（県外）

株式会社静岡茶市場
令和6年4月3日時点

農協・地区	情 勢
鹿児島県 (南薩地区)	えい・知覧の早場所で早生品種のユタカミドリ・サエミドリの被覆作業が3月27日・28日から始まり、4月5日・6日頃からの摘採予定です。生育は1月・2月の適度な降雨と暖冬で当初は昨年より2・3日早まると予想されていましたが、3月中旬の寒の戻りもあり昨年並みとなっております。当市場の初入荷は4月8日（月）でほとんどの工場が出揃う予定です。
鹿児島県 (種子島)	第一便の松寿は昨年より2日早い3月21日に入荷がありました。4月5日頃から量が増え始めます。サエミドリが4月5日頃から入荷してきます。ヤブキタは4月10日頃から摘採がはじまり4月15日頃に生産が終了しそうです。品質は今のところ良く感じています。
鹿児島県 (大隅)	大隅地区の志布志で早生品種（ユタカミドリ）の露地物が4月10日頃からの摘採開始予定です。昨年並みの早さで生育も順調にきており、本年は新芽の色乗りも良く露地物でもミル芽の良品が期待できそうです。
宮崎県	児湯地区の早場所のサエミドリの被覆が4月1日から始まり4月10日頃の摘採予定です。4月15日頃からサエミドリなどの早生物が県下一斉に生産されそうです。生育の遅れている早生物にヤブキタの生育が追い付いてきそうな状況です。宮崎県の初入札は4月12日に決まりました。
高知県	吾川の早場所でやっと芽が動きだしたところで今後の天候次第では4月20日頃に池川・霧山あたりで20日以降の摘採開始予定です。どの産地も5日ほどの遅れで、2年前と同じような感じの気候で、今のところ霜の被害もないので良品が期待できそうです。